
少年の旅物語

UMA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

少年の旅物語

【Zコード】

N9840Y

【作者名】

UMA

【あらすじ】

これは、とある少年の物語。

少年は、その心に強い思いを持つて旅に出る

プロローグ

これはとある村のとある家の出来事。

「父さん。俺は父さんのようになりたい。だから強くなる。少年は3つの人物が写った写真に向かって語りかける。

「母さん。俺は母さんのようになりたい。だから優しくなる。

でも、それだけだと強くなれないのは解ってる。だから僕は旅に出るよ。

いろんな人とであつて、仲間も増えると思う。それでも、俺は人のためにあり続ける。この思いだけは曲げないから。たとえ偽善としても。

弱い人は守り。苦しんでいる人は助ける。間違っている事をしていたら注意する。

たとえそれが自己満足だとしても、それを俺はやめない。

俺は、人の笑顔が好きだから

」

ここで一人の少年が誓う。

今は亡き、父と母に向かって。

この少年にはこれから大きな困難が訪れるだろう。

その事を一番わかつているのは、この少年だ。

それでもこの少年は歩みを止める事は無いだろう。

それがこの少年の旅なのだから。

世界設定

この世界の大陸

ガルデシア大陸
特に魔物などが多い。

山や、森、湖など自然が良く残っている大陸。

魔物や動物などが住みやすい。
人があまり寄りつかない。
なので、人を嫌う種族は好んで住む。

サー・レイン大陸

特にエルフが好んで住む
精霊が多い土地が多いので魔物はほぼ居ない。
居たとしたらとても強い魔物だけ。

ここも自然が多いがガルデシア大陸よりは少ない。

キフェレスト大陸

ここは不思議なところで砂漠と森が隣り合わせの土地。
砂漠は暑く森は寒いと人には住みづらい土地。

種族

人

普通の人

エルフ

耳のとがつた人。精霊と契約が出来る。

ドワーフ

背が小さく力が強い人。
鍛冶などが得意。

獣人

普通の人に動物の耳と尻尾がある感じ。

その動物と同じような動きが出来る。

魔物

人を襲う動物を総称してこう言つ。

ギルド

旅に出る者は絶対に所属する組織。

ここではクエストなど受けて金を稼げる。

ランク

ギルドでは強さによってランクが決められる。

ランクは

G F E D C B A S S S S S S S EX SP

となる。

Gが一番下でSPが一番上である。

このランクは魔物の強さと比例している。

主人公設定 物語と同時進行

名前

?????????????

歳

??

ギルドランク

??

強さ

???????

転生者

神様から特別な力をもらっている。

特性

転生者

事件やイベントが起きやすい。主人公体質になる【誰かを犯したい】などの願望を持つていなかつたら転生者ならだれでも付く

成長限界突破

頑張れば、若返りや不老にもなれる。
それに伴つて強くなるので。

ほぼ不老不死状態。

能力コピー

相手の能力を自分のものに出来る。
しかし、相手から一定以上信頼されていないと
コピーが出来ない。

また成長限界突破だけなら条件付きで相手に「コピー」をせる事が出来
る。

一つ名

？？？

転生者である。

神様の間違いで死んでしまったため、異世界へ転生する。
神様からは特別な力をもらつた。

もらつた力は上の通り。

プロローグ ?

俺は転生した。

いや……ね？ そんな変な人を見るような眼をしないで？ 悲しいから。ま、まあ、とりあえず俺が転生したって事だけは覚えていてほしい。

そしてこれが前世での人生だった。

俺は孤児だった。そこで施設で18年間育てられた。

それからの生活は楽しい物だった。

株をやつてみたら成功。莫大な金を手に入れた。

それを使って会社を立ち上げる。

2年ぐらいたつて、作った商品が大ヒット。

さらに大きな会社を立ち上げる。

さらに商品が大ヒット。

日本一の大きな会社になり、彼女が出来る。

彼女と結婚、子供が生まれる。

初めての挫折。会社の商品が今までの40%しか売れなくなる。

10年かけて会社を立て直す。

2年後、完治不能の病気を患う。

1年後、死期が近いと感じ、世界中の孤児や生活の出来ない人々に支援金を送る。

半ヶ月後、家族に惜しまれながらも、死亡

大体纏めるところの様な感じだった。まあ、正確にはこんなに良い事だらけの人生じゃなかつたけど。

まあ、そんな訳で死んだわけだが……

神様と名乗る人が現れて。

『お前は最後に人々に生きる手段と希望を与えた。

そこで褒美としてお前の5つの願いを叶えて、知らない世界に

転生をしてあげよう。』

と言った。

これでも俺は転生などと言つ物語が好きだったのでとてもうれしい物だった。

「」で俺は願いをとりあえず二つ言った。

「とりあえず、俺の子孫を仕事などで成功するようにしてくれ。
もうひとつは俺の子孫たちが、悪い心を持たないようにしてくれ。」

「

『「」で言つた悪い心とは、誰かを殺したいとかそういうことだ。』

さすがに完璧な善人の人格にしてしまつと氣味が悪いからな。

「あとは………そうだ！神様。その世界つて、何か魔物みたいなものが出てたりするのか？」

『ふむ………そういう世界が良いのか？』

「ああ…」

『それじゃあ、そういう世界に転生させてあげよっ』

「よつしゃーそれじゃ、成長限界突破の能力をくださー！」

『ふむ………良こじやうひ』

「あとは………『』能力！これを下さー！」

『そりだな、良いだろ？しかし制限つきだからの？後おぬしは解つておらんようだが、そのような能力を持つと一生独り身になるぞ？もし、番になる物が出来ても、おぬしは古いねから、相手の者が先に死んでしまうぞ？』

「……ホントですか？」

『「つむ』

「えっと、それじゃあ…………そうだ」コピー能力を応用して相手に成長限界突破の能力を「コピー」できるよつこしてください」

『わかった、それでは、送るぞっ。』

「はい、よろしくお願ひします」

『それでは、おぬしを送る。第一の人生。生き抜いて見せよ』

「はいー。」

と、じつじつ風に俺は転生をした

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9840y/>

少年の旅物語

2011年12月5日20時10分発行